



Tanabe East Rotary Club in 2022-23

2022-23年度RI会長

ジェニファー・ジョーンズ

第2640地区ガバナー：森本 芳宣

田辺東ロータリークラブ

創立：昭和49年5月15日

会長：岡本 博

幹事：前田 吉彦



例会場/事務所：田辺市下屋敷町81-10

きのくに信用金庫田辺支店3F

Tel 0739-24-6427 Fax 0739-34-5008

http://tanabe-east-rc.com/

E-mail info@tanabe-east-rc.com

例会：毎週水曜日 12:30～

ビジターフィー ¥2,000

〇会長報告

会長 岡本 博



■本日のお客様は、串本町 企画課 課長 名田 倍也 (なだますや) 様、主任 東田 一真 (ひがしだかずま) 様です。後ほど宜しくお願ひします。

■5月20日(土) けやきONE401に於いて「第4回2023-2024年度ガバナー補佐・幹事予定者合同会議」が開催され、岡本が出席しました

■本日のお弁当は「宝来寿司」さんです。ご賞味下さい。



〇幹事報告

幹事 前田 吉彦



◎和歌山北RC

6月19日(月) → 6月22日(木) 18:30～

「最終夜間例会」

ダイワロイネット和歌山4F

6月26日(月) → 休会

■メイクアップ

◎5月20日(土)「第4回2023-2024年度ガバナー補佐・幹事予定者合同会議」 岡本博君

■回覧

◎森本ガバナー事務所より

「クラブ職業奉仕委員長会議のお知らせ」

◎谷ガバナーエレクト事務所より

「世界米山学友による 再会in関東のご案内」

◎公益財団法人 和歌山県水上安全協会より

「令和5年度賛助会員会費納入のお願いについて」

◎国際ロータリー第2640地区 2022-2023年度地区立法案検討会選挙人より「通知書」

◎社会福祉法人 日本ライトハウス 盲導犬訓練所より「盲導犬育成の医療費のご協力(クラウドファンディング)」

ホテルアバローム紀の国

■例会日時変更

◎白浜RC

6月2日(金) → 休会

6月16日(金) → 6月21日(水) 19:00～ 夜間例会

◎田辺はまゆうRC

6月6日(火) → 17:30～ 和歌山城ホール
「元阪神タイガース鳥谷敬氏講演会」

◎串本RC

6月6日(火)・20日(火) → 休会

6月13日(火)・27日(火) → 夜間例会

18:30～ 旧ヒルトップ和田金

◎和歌山東南RC

6月7日(水) → 休会

6月28日(水) → 18:30～ 「最終親睦夜間例会」
ホテルアバローム紀の国

〇今日のお弁当

本日のお弁当は「宝来寿司」さんのお弁当でした。美味しく頂きました。



〇次回プログラム

◎5月31日(水) 卓話 (内卓)

◎6月7日(水) 新会員卓話 坂本雄介君

◎6月14日(水) 卓話

◎6月21日(水) 委員会活動報告

◎6月28日(水) 最終例会 会長挨拶

○ゲスト

串本町 企画課
課長 名田 倍也 (なだ ますや) 様
主任 東田 一真 (ひがしだ かずま) 様



○本日の唱歌

「バラが咲いた」

谷本 司 君



○出席報告

会員数 36名 義務免除 6名 本日の欠席者 12名
本日の出席率 60%

○にこにこ報告

(敬称略)

☆本日もニコニコありがとうございました。

◇串本町 企画課

課長 名田倍也様、主任 東田一真様をお迎えして

泉房次朗、上原俊宏、岡本 博、佐田一三、竹中悟
谷中順次郎、谷本司、中嶋伸和、西谷貞彦、野村憲司
畑地誠、本田耕二、前田吉彦、真下京

◇お花いただきます。

竹村英一



○本日のプログラム



串本町 企画課

課長 名田 倍也様
主任 東田 一真様

本日、田辺東ロータリークラブ様の例会にお招き
いただき、誠にありがとうございました。

私、串本町役場企画課の名田と申します。(隣は)
同じくロケット事業を担当している企画課ロケット
推進室の東田です。どうぞ宜しくお願い致します。

本日は、現在、串本町で進められているロケット事
業について説明させていただきます。まずは、国内民
間初のロケット射場を串本町に建設した「スペースワ
ン株式会社」のプロモーションビデオをご覧いただき
ます。

ご覧のように宇宙を舞台にした一大プロジェクトとい
うことで、私どもも、ことあるごとにロケットと串本町
をPRしています。

現在、串本町は漫画「宇宙兄弟」とコラボしていて、
民・官が様々な商品開発を行っています。また観光イベ
ントにも「宇宙兄弟」に扮して積極的に参加しています。
漫画「宇宙兄弟」は実写版で映画化もされており、主人
公を演じたのが俳優の小栗旬さんと岡田将生さんという
ことで、私は、アフロヘアがトレードマークのムッタこ
と小栗旬という名目で、イベントに出ていますが、若い
女の子からは「こちらのお兄さんの岡田将生はいいとし
て、おじさんの小栗旬はビジュアル的に許されるのです
か?」といった辛辣な言葉もいただいています。



四つのテスト：1. 真実かどうか2. みんなに公平か3. 好意と友情を深めるか4. みんなのためになるかどうか

○本日のプログラム（続き）

こちらは今年3月30日、JRくろしおにロゴマークをラッピングした際のお披露目式。こちらは、翌日の初運行時の車内写真です。のんびりくつろいでいた訳でなく、このあと、乗客の皆さんに記念グッズを配布してまわりました。

ちなみに、このオレンジのツナギですが、直接JAXAから直接取り寄せた・・・

ものではなく、ワークマンで3,800円の品です。

さて、本題に移らせていただきますが・・・時間の都合上詰め込んで説明いたします。ご容赦ください。

スペースワンのこれまでのあゆみとして、国では2008年以降、民間による宇宙開発が可能となるよう整備が行われ、これと並行して2018年に「スペースワン株式会社」が発足。その後、串本町の田原地区を射場予定地に選定し、住民の合意を得て2021年末に射場が完成しました。

なぜ串本町が射場の候補地になったのか、いくつかの理由が書かれていますが、一番には、南方及び東方に陸地や島が存在しない点、そして地元の理解と協力が得られるという点。（調印式のスライド）候補地に選定されてからわずか4年余りで、工事が完成したことからも、如何に地元の方々の協力があつたかがわかります。

日本のロケット発射場は、現在3カ所。皆さんよくご存じの鹿児島県種子島宇宙センター、同じく肝付町にある内之浦宇宙空間観測所はJAXA・・・つまり国が管理する国営射場で、串本町の「スペースポート紀伊」が国内3番目、民間では初のロケット射場となります。



世界を見てみると主だったものは26箇所。ご覧になってわかるようにロシアでもいくつかの射場がありますが、ウクライナとの関係から、以前のように衛星打ち上げを依頼しづらい状況が続いていると聞いています。



串本町から打ち上げるロケットは、高さ18m、種子島から打ち上げているHII、HIIIの約1/3、内之浦から発射されているイプシロンと比べてもふたまわりほど小さいロケットですが、その分安価で、製作日数も短いというメリットがあり、2020年代の後半には年間20基の発射を目指しています。

合併前の旧古座町役場の庁舎に実物大の懸垂幕がかかっています。3階建の建物より1~2メートルほど高いといったところでしょうか。

固形燃料を使用した三段ロケットで、先端のフェアリングと言われる部分に衛星が格納されています。

串本町から打ち上げるロケットの名前は「カイロス」。ギリシャ語で「チャンス」という意味もあり、またギリシャ神話に登場する時を司る神「カイロス」と、Kii-based Advanced & Instant ROcket System の頭文字をかけたあわせの名前となっています。

（紀伊をベースにした、先進的でわずかな期間で打ち上げるロケット方式）



次にスペースポート紀伊につきまして、スペースポートとは直訳すれば「宇宙の港」。

位置は、串本町と那智勝浦町の町境。浦神半島に位置します。

主な建物は、国道42号線からも見える総合司令塔。そこから1.5~2.0km海の方角に向かった山間部にロケット組立棟、発射台が建設されています。

今は、火薬も搬入されており、関係者以外私たちも敷地内にすら入ることができません。

ロケット発射場の立地に伴う和歌山県への経済波及効果は、10年で670億円程度。

初号機発射時には公式見学場も設けます。串本町側で田原海水浴場に2,500人、那智勝浦町側は旧浦神小学校に2,500人、合わせて5,000人の収容を予定しています。

ここにはパブリックビューイング（大型モニター）を設置し、発射の状況をライブ映像で流すとともに、商品販売等も予定しています。

公式見学場での見学には、事前予約が必要で、有料。もちろん会場は車両入場禁止となりますので、両町に専用駐車場を設け、シャトルバスによる人員輸送を考えています。

半面、今苦慮しているのが、渋滞対策です。

発射当日は、公式会場以外での見学される方も相当数来訪されることが予想されており、今現在、県をはじめ、県警、那智勝浦町、串本町ほか関係機関による渋滞対策に力を注いでいます。

○本日のプログラム (続き)

(串本町の地域活性化についての取り組み)

串本町では、この唯一無二である民間ロケット射場を町活性化の起爆剤とするため、これまで様々な取り組みを行ってきました。

2年前には宇宙飛行士の山崎直子さん、毛利衛さんらをお招きしてのシンポジウム。また事業者の方や子供さんを対象としたワークショップや、ロケット・宇宙に関するイベントは今も続けています。

そのほか、串本町のオリジナルロゴマークの制作。

内外の事業者の方が作成した、オリジナルのロケット関連グッズも販売しています。中でも観光協会が販売している「ロケットサイダー」は人気を博していると言われています。

また町も、お手元にお配りしているクリアファイルや記念切手、このバルーンやそれまで販売していたペットボトル「なんたん水」に加えて、アルミ缶に宇宙兄弟をラッピングした10年保存可能で備蓄水にもなる「串本の水」などなど、製作しています。

また、ロケット事業に合わせて、観光客や教育旅行の誘致を目的に、合併前の旧古座町の役場庁舎をリノベーションし、3階には、横幅12m、高さ3mの臨場感シアターを整備。ここではカイロス発射時の映像や串本町の観光名勝の映像をお見せすることとしています。

2階は、サテライトオフィスやワーケーションとしても活用できる「コ・ワーキングスペース」を整備。

今年度は、残る1階部分をロケット・宇宙に関するミュージアムに整備することとしています。

全体のイメージ図はご覧のとおり。入口に直径1.5mの円筒形のスクリーンを配備し、下から上に実物大のロケットが発射される映像を映し出す。

メインは、天井のドームシアターに、ロケットが発射され、子どもたちが描いた衛星が宇宙空間の衛星軌道に放たれるというコンテンツ。

旧分庁舎の外観イメージはこのようなもので、入り口部分に宇宙をイメージするデザインが施されます。4月に施設の名称を公募し、先日名称が決定しました。

本日、14:00にプレス解禁となりますので、まだ役場関係者と、報道関係しか知りません。名称は「宇宙ふれあいホール Sora-Miru」に決定しました。

この施設は、早ければ今年度の後半にオープンする予定ですので、完成後、是非、皆さまにもお越しいただきたいと存じます。

今後の取り組みですが、書いているとおりですが・・・、カイロス初号機の発射は、新型コロナウイルスやウクライナ問題による世界情勢の影響で3度延長されています。これまでの風潮が「一体どうなっているのか？本当に飛ぶのか？」といったものでしたが、ここ最近、JAXAによるHⅢロケットやイプシロンロケット、またアメリカの

スペースX社によるロケットの打ち上げ、更には日本の民間企業アイ・スペースによる月面着陸船も着陸直前に通信が途絶えるなど、残念なことに宇宙産業に関するプロジェクトが連続して不調に終わっていることから「やっぱりロケット・宇宙産業は難しいんだな。時間をかけてでも初号機打ち上げを成功してもらいたい」という風潮に変わってきています。

私たちでは計り知れない困難なプロジェクトではありますが、串本町では打ち上げの日まで、あるいはそれ以降も串本町のみならず和歌山県全体の機運を維持あるいは高める取り組みを進めてまいりたいと考えています。

最後に・・・

このロケット関連事業は、串本町や那智勝浦町だけのものではありません。

県の試算ではロケット発射当日、約2万人の来客が見込まれています。

これらの方は、寄り道せず、数分の発射を見て帰る訳ではありません。

「せっかく、和歌山まで来たのだから・・・。せっかく紀南まで来たのだから・・・」と、必ず近隣の観光地やイベントに立ち寄るものと、考えています。

田辺以南の地域全体が、ロケットの観光拠点となり得るものと確信していますので、どうか、皆様におかれても応援のほど宜しくお願い致します。

内之浦での実際の発射映像をご覧いただきたいと思えます。

串本古座高等学校では、令和6年度から宇宙探求コースを開設し、入学者の募集を行う。

昨年度の入学者が50名余りであったのに対し、今年度100名弱の入学となった。中には全国募集で来年度からの宇宙探求コースを楽しみに入学された人もいると聞いている。

そこで重要となるのが、宇宙工学の専門家の確保ということになるが、県教委の計らいで、今春までJAXAの職員であった藤島氏が専門教員として採用され、着任している。私も数回お会いしたが、まっ「素晴らしい」の一言に尽きる方。新聞記事にもあるように「目標は、和歌山県から宇宙飛行士を輩出したい」とのことで、「幼いころから宇宙に興味を持ってもらうのが重要」と、高校教員でありながら、小中学校を訪問し、児童・生徒さんと触れ合う機会を持ちたいと意欲を語っていた。

